

第12回社会福祉法人おおすぎ実践報告会のご案内

平素より当法人の運営に多大なご協力とご理解を頂き誠に有難うございます。

昨年度よりオンライン開催をしてきました実践報告会を今年度もZOOMにて開催をさせていただきます。

これまで同様、私たちが取り組んできた実践を皆様と共有することで日々の実践を振り返り、様々なアドバイスを頂くことでより良い支援を目指していく機会にしたいと思っております。未熟な報告になること、さらに不慣れなオンラインでの運営の不手際をお許し頂きご参加願えましたら幸いです。

【内容】

◆城山れんげの里 行動観察事業 潮田 真一

「強いこだわり行動を持つ方のグループホーム入所前の取り組みについて」

強いこだわり行動を持つ在宅生活中のAさん、現在通っている生活介護事業所が新たにグループホームを建設することとなり、ホームの利用が決まりました。新たな生活に向けて事業所の方より夜の様子について不安がある為に、入所前に行動観察事業の希望が挙がり、利用する事となりました。本人がどのような考え方に基づいて物事を捉えているのか、どのような困りどころがあるのかを関わりの中で探っていました。その中で失敗したこと、本人の気持ちに寄り添った新たな関わりが出来たことを関係者と共有し、グループホームでの生活に繋げることが出来た事例を報告いたします。

◆三重県自閉症・発達障害支援センターれんげ 本地 知加子

「幼少期から生きづらさを抱えてきた男性が障害者就労に至るまでの支援」

自閉症スペクトラム 33歳男性Bさん、幼少期から集団生活になじむことが難しく、幼稚園から不登園となり、就学後は不登校が続き、高校を中退したあとは社会と距離を置いたままの状態、引きこもりに近い生活を送るようになっていました。その後、年月をかけて、相談につながる、福祉サービスの利用を開始する、一人暮らしを始める、というように、少しずつ段階を踏みながら、現在の障害者就労に至るまでの経緯について報告いたします。

◆れんげの里 施設入所支援 島 隆雄

「解決困難な行動障害の背景と予防に向けて」

～「関係性とかかわり」の中で培われる支援の領域と視点の行方～

解決することがとても困難な行動障害というものに、どのような視点を持ち、向き合い、寄り添っていくことが必要なのか、日々の生活を恒常的に安定させていくための手段・引き受け方について、現状を述べるとともに、Cさんという方の独特なこだわり行動、感覚世界を通じて、考察を交えた報告をさせていただきます。

◆城山れんげの里 施設入所支援 東海 真吾

「職員との関わりを整理し楽しみを持つことで生活に変化があるのか？」

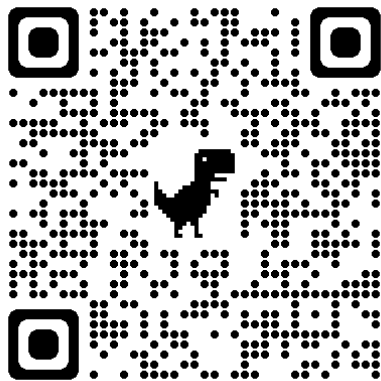
Dさん 34歳男性 急な予定変更が苦手であり、日常のペースを乱されることに大きなストレスを感じる方です。また慣れない人も苦手なショートステイの利用者さんや新しい職員とは様々なトラブルがありました。そんな彼がコロナ禍という生活環境の変化で溜まったストレスを解消するため、職員との関わりを整理したり、楽しみを模索する事でどのように変化していったのかを報告いたします。

- 【日時】 令和5年2月12日(日) 13:00~16:00
【開催方法】 ZOOMミーディング
【参加費】 無料
【定員】 50名程度
【主催】 社会福祉法人おおすぎ

【申込方法】

下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。また、お申込みは、2月5日(日)までにお願いします。定員を超えた場合、メ切日前であっても申し込みが出来なくなります。ご了承ください。

<https://forms.gle/MPZX6LwdY7zKoMdL8>



【注意事項】 ※必ずお目通しください

- Zoom を用いたオンラインでの報告会となります。そのため、Zoom を使用できる機器および回線の準備が必要となります。
- 初めてZoomをご利用される場合は、下記よりダウンロードが必要です。

<https://zoom.us/download>

* インストール後 <https://zoom.us/test> で接続や使用方法をテストできます。

- 当日の Zoom ミーティングルームへの URL は、2 日前までに申し込みいただいた E-mail アドレスにお送りします。申込をされた方で、配信 URL が届かない場合は、事務局までお問い合わせください
- 実践報告の内容の録画、録音、配布等はしないでください。

【お問い合わせ】

城山れんげの里 田畑

TEL 059-238-0001

E-mail shiroyamarenge@zb.ztv.ne.jp